

カンボジア政府統計能力向上計画フェーズ 2 2009 年全国事業所リスティング 調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 事業所及び従業者に関する経済活動別及び地域別分布統計を作成すること。
- (2) 事業所を調査対象とするサンプル統計調査のために、全国の事業所を収録した標本基礎 (Sampling Frame) を構築すること。
- (3) 2011 年経済センサスのための調査区一覧表 (Census Frame) を構築すること。

2. 調査期日

2009 年 2 月 9 日現在で、全国一斉に実施する。

3. 調査期間

2009 年 2 月 9 日～3 月 8 日

ただし、24 州・市のうち次の 3 州・市では、推計事業所数よりも実際の事業所数の方が多かったことなどから、調査期間の途中で期間を延長した。プノンペン (Phnom Penh) 市 (9 日間)、シエムリアップ (Siem Reap) 州 (5 日間) 及びクラチエ (Kratie) 州 (1 日間)。

4. 調査の根拠法令

カンボジア統計法 (Statistics Law of Cambodia) 第 8 条及び第 9 条

5. 調査の地域

カンボジア国内全域を調査の地域とする。

6. 調査の対象

次の事業所を除く、すべての産業に属する事業所を調査の対象とする。
農林漁業及び個人のホームヘルパーなどの世帯活動に属する事業所、並びに官公庁、軍隊の営舎、外国公務の事務所及び移動販売の事業所を除く。

ここでいう事業所とは、固定の場所で経済活動を営み、固定的な設備があること。
(国際標準産業分類第 4 版 国連統計部の Establishment の定義に準じる。)

7. 調査の系統

N I S 担当職員 → 州調整員 (Provincial Coordinator、24 人) → 指導員 (40 人)
→ 調査員 (323 人)

州調整員は州 (Province) 計画局長等、指導員は N I S 職員、鉱工業エネルギー省職員 (2 人) 及び州計画局職員、調査員は州計画局職員や郡 (District) 計画事務所職員等が担当した。

ただし、24 州・市のうち次の 12 州・市において、調査期間の途中で調査員を追加した。
プノンペン (Phnom Penh) 市 (9 人)、シアヌークビル (Sihanoukville) 市 (7 人)、

シエムリアップ (Siem Reap) 州 (7人)、クラチエ (Kratie) 州 (3人)、コンポンチュナン (Kampong Chhunang) 州 (2人) 及びその他7州。

8. 調査の方法

調査員が各事業所を訪問し、オーナー又は管理的な立場にある従業員にインタビューする方法により行った (他計方式)。また、調査員が1日に調査可能な事業所数を平均で55事業所と見積もって、調査を実施した。

9. 推計調査対象数

約38万事業所

10. 調査事項

- (1) 事業所の名称
- (2) 事業所の代表者の男女の別
- (3) 事業所の所在地
- (4) 商業省へ登記済みか否か
- (5) 経営組織
- (6) 本所か支所か
- (7) 従業員数 (総数、男、女)
- (8) 産業分類 (細分類)
- (9) 事業所の電話番号

11. 調査経費

約39万米ドル。うち約22万米ドルを我が国のノンプロジェクト無償資金協力見返り資金から支出、また、うち約14万米ドルをJICA技術協力プロジェクトから支出。

- ①調査員手当 日当5米ドル/日、交通費8米ドル/日
このほか、離島や僻地については、別途、特別交通費 (実費) を支給。
- ②指導員手当 日当25米ドル/日、各州までの往復の旅費 (1回分)
- ③調整員手当 日当10米ドル/日
このほか、横断幕取り付け等のための交通費 (実費) を支給。

12. 結果の公表予定

- ①速報結果 2009年6月9日
- ②確報結果 2009年12月9日

13. これまでの経緯

カンボジアでは、これまで全国のすべての事業所 (農林漁業を除く) を対象とする統計調査である経済センサスが実施されたことがない。このため、次の3つの準備段階を経て、カンボジアでは初めての経済センサスを2011年に実施することが計画されている。

まず、第1段階として、2006年プノンペン事業所リスティング (産業を限定して約9,500事業所を対象) を実施し、事業所名簿を作成した。次に、第2段階として、その事業所名簿を基に、2007年プノンペン事業所統計調査 (約1,000事業所を対象としたサンプル調査) を実施した。そして今回、第3段階として、調査対象を全産業に拡大するととも

に、調査地域も全国に拡げて、2009年全国事業所リスティング（約38万事業所を対象）が実施された。これにより、カンボジアでは初めての全国のすべての事業所（農林漁業に属する事業所等を除く）を掲載した名簿が作成される。2011年経済センサスは、この事業所名簿を基に実施されるので、経済センサスに向けての準備、さらには関係職員の訓練や経験の蓄積という意味で、この第3段階は、大変重要なステップとなっている。また、同時に、カンボジアの事業所の全体像が把握されるので、この意味においても極めて重要である。

このほか、2011年経済センサスにおいて中核的な役割を果たす人材を育成するために、2006年以降毎年、NIS職員を研修生としてインドネシア中央統計庁（BPS）へ派遣している。

<http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/census11.htm>